

日中友好のしんぶん

# 大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6  
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2016年1月1日 No.238

●定 価 200円

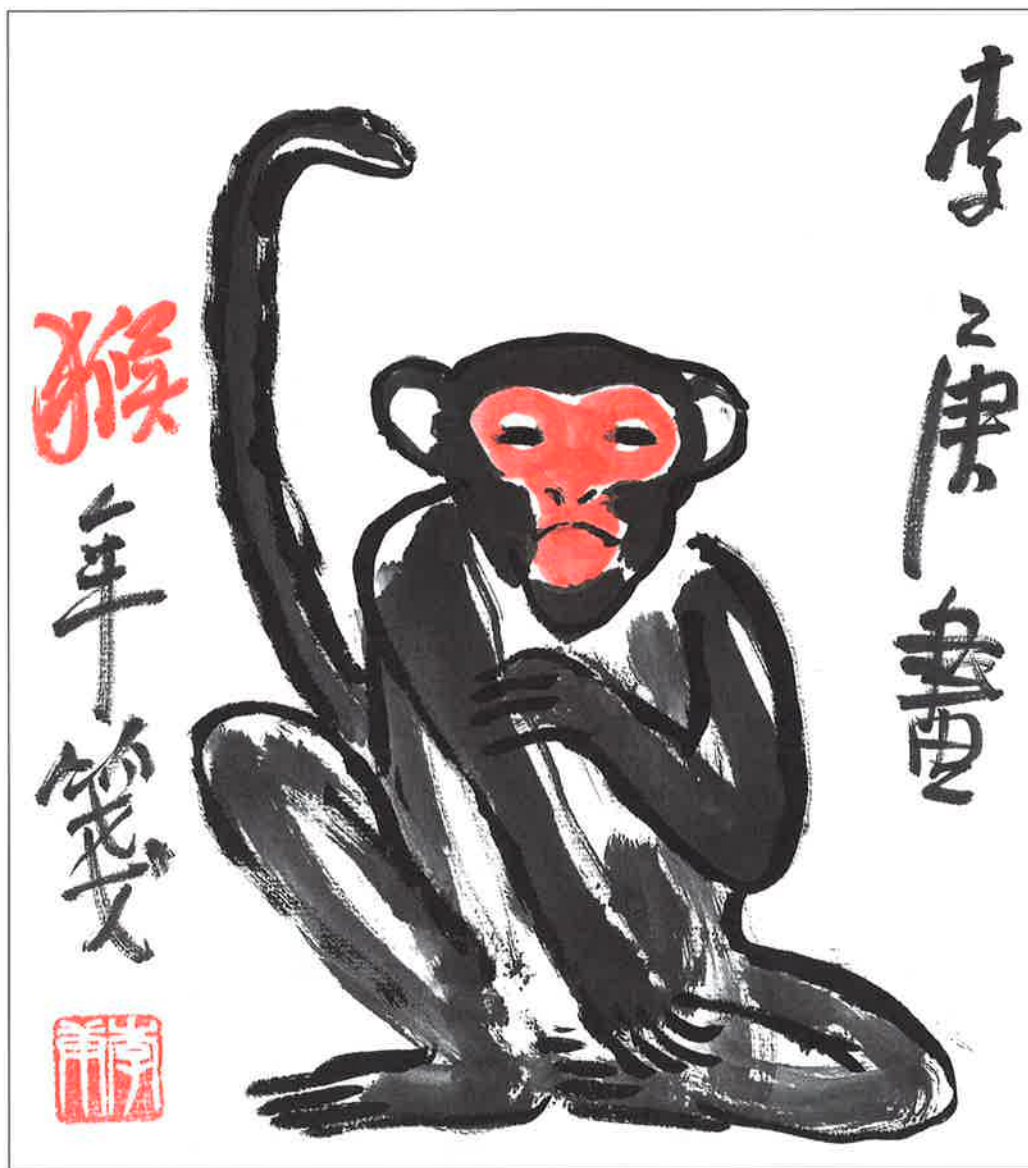
宛先：大阪府日中〈jcf@mail.infomart.or.jp〉

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簪氏

申

あけましておめでとうございます



李 庚 書・画

京都造形芸術大学教授

# ごあいさつ



会 長

谷 井 昭 雄

新年おめでとうございます。

会員各位には、ご家族お揃いで益々お健やかに新年をお迎えになったことと、お慶び申し上げます。

日頃は、日中友好の活動にご理解いただき熱心にご参加下され感謝致します。

特に昨年は、大阪と上海が友好都市として35周年の記念すべき年であります。今日、日本と中国の厳しい現状にあって、こういう時こそ一層、両国の民間交流の持つ役割の大切な時と考え、大阪府と大阪府日中友好協会の合同の訪問団を実施致しました。11月3日から5日間、上海から南京、蘇州を訪問して多くの交流を行ない、大きな成果を得たと確信致します。

同時に参加下さった皆様に感謝する次第です。

上海では、市並びに対外友好協会はじめ古い友人との交流を始め、環境フォーラムの開催と、日中友好の先覚者である雨宮礼三氏生誕100周年の記念の催し、南京、蘇州においても有意義な行事や交流を行ない、その都度、日中の人と人との交流が友好の古い歴史を思い起し、また未来への友好発展へのエネルギーが湧き出たと考えます。

最近、国家間の問題に加え、中東に発する問題は、民族や宗教にかかわる複雑な出来事で、これが世界の政治や経済や人々の生活に大きな影響を及ぼすようになってきました。

このことは世界のリーダー達が考え方を改め、自国の事だけにこだわらず真剣に人間の平和と幸福が危険にさらされているという自覚をもって、大局的立場で話し合う時です。

冷たい関係の続く日中の政治の場で、漸く両国の要人の交流が動き出しました。アジアの隣国として日本と中国が“和を以てすれば福となり、争えば不幸を招く”認識の下、お互いに理解をもって友好への惜しみない努力を願うものです。

今年から始まる日中の未来に大きな希望と期待を持ちたいと思います。大阪府日中友好協会も会員の交流を盛んにし、一層社会に影響力の持つ幅広い協会を目指し、会員の拡大と活動を通じ日中友好の推進力にならなければなりません。

本年も会員皆様のご健康と日中友好のより発展のため共に努力下さいますよう祈念申し上げます。

謹 賀 新 年

|  |   |  |   |   |
|--|---|--|---|---|
| <p>大阪華僑総会</p> <p>会 長 劉 中 耀</p> <p>理 監 事 一 同</p> <p>大阪市西区靱本町三丁目九番十八号<br/>電話 (06) 64481054</p> | <p>西日本新華僑華人聯合会</p> <p>会 長 畢 廣 軍</p> <p>〒541-0051 大阪市中央区備後町二丁目四一六<br/>電話 (06) 62331509</p> | <p>大阪市労働組合連合会</p> <p>執行委員長 上 谷 高 正</p> | <p>美麗中国<br/>2016中国シルクロード観光年<br/>シルクロードの旅、美しい中国を体験し<br/>中国国家観光局(大阪)</p> <p>〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1<br/>電話 06-66635132<br/>FAX 06-66635132<br/>OCATビル4F<br/>http://www.cnta-osaka.jp/</p> | <p>一般社団法人日中経済貿易センター</p> <p>名誉会長 谷 井 昭 雄</p> <p>代表理事会長 村 山 敦 雄</p> <p>代表理事理事長 青 木 俊 一 郎</p> <p>〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四一-1-3<br/>大阪センタービル2F TEL 06-47041251</p> |
|--|---|--|---|---|

# 2016年 友好の高まりをめざして

大阪府知事

松井 一郎



新年を迎えるにあたり、谷井昭雄会長をはじめ、大阪府日本中国友好協会の皆様に新春のお喜びとお祝いを申し上げます。

貴協会は、1950年の創立以来、66年の長きにわたり、日本と中国の友好交流と相互理解の進展に寄与し、幅広い分野で活動を続けてこられました。これまでのご活動に心より敬意と感謝の意を表します。

昨年は、大阪府と上海市の友好都市提携35周年という節目の年であり、これを記念するため、大阪府は、11月に植田副知事を団長とする訪中団を派遣しました。記念行事として、日中両国から約200人の出席を得て開催した「大阪—上海環境・省エネ技術フォーラム」においては、大阪が高度成長期に経験した環境問題解決の取組み等を紹介しました。本フォーラムをひとつの契機として、環境改善・省エネ促進の分野における日中間の相互協力が今後ますます拡大していくことを期待しております。

また、「大阪—上海友好交流会」においては、遊覧船から黄浦江の素晴らしい夜景を楽しみながら、

上海市の皆様や、谷井会長を団長とする貴協会の記念訪中団の皆様とともに、これまでの交流の歴史を再認識すると同時に、将来の交流発展に向けた思いを共有でき、誠に有意義な催しとなりました。この場をお借りして、貴協会の皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

こうした活動を通じて、日中相互の友好と連携を深め、その成果を次世代へ受け継いでいくことが、大阪と中国との友好発展、ひいてはアジアの平和につながると確信しております。新年を迎えるにあたり、大阪府といたしましても、貴協会と緊密な連携のもと、中国との友好の輪をさらに広げ、いつまでも変わらぬ交流を続けていきたい、との思いを新たにしております。

結びに、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

大阪市長

吉村 洋文



新年あけましておめでとうございます。大阪府日

|  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| <p>NPO法人<br/><b>大阪太極拳協会</b><br/>会長 大藪 二郎<br/>〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島三ー一四ー二四<br/>大阪武術太極拳トレーニングセンター<br/>電話 (〇六) 六四七八ー三〇〇三</p> | <p>NPO法人<br/><b>大阪太極拳協会</b><br/>理事長 川崎 雅雄<br/>〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島三ー一四ー二四<br/>大阪武術太極拳トレーニングセンター<br/>電話 (〇六) 六四七八ー三〇〇三</p> | <p>社団法人<br/><b>大阪府鍼灸師会</b><br/>〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町六一六<br/>電話 (〇六) 六三五一ー四八〇三</p>  | <p><b>公明党</b><br/>大阪府本部<br/>www.komei-osaka.jp</p>  | <p><b>西日本貿易株式会社</b><br/>本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町四丁目四一〇<br/>KDX 小林道修町ビル八階<br/>電話 (〇六) 六二〇三ー五七三一(代)</p> |
|--|---|---|---|---|

本中国友好協会の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

大阪府日本中国友好協会が、長年にわたり日中両国の友好交流と相互理解の進展に寄与する事業を積極的に推進され、今日まで大きな成果をあげておられることは誠に意義深く、皆様方の熱意とご尽力に深く敬意を表します。

昨年は、大阪市と上海市の友好都市提携の締結日である4月18日より1週間、大阪市役所の市民ロビーにおきまして、上海市政府から頂いた記念品や上海万博出展時の記録、各種パネルなどを展示し、日本と中国、大阪市と上海市の交流の歴史について、市民の皆様にご覧いただく良い機会となりました。

また、6月と9月には「上海投資環境説明会」が大阪で開催されて成功裏に終わり、10月には史跡難波宮跡で「中秋明月祭大阪2015」を同実行委員会及び在大阪中国総領事館と共催し、大阪市民が中国文化に親しみ、日中友好の輪が広がる機会となりました。11月には深圳市で開催された「国際友好都市ラウンドテーブル」に大阪市も参加させていただき、各都市と交流を深めることができました。

ほかにも、大阪市では中国各都市からの訪問団を受け入れ、様々な分野で交流を深めて参りましたが、昨年11月に実施された日中首脳会談において、「日中関係は改善の方向にあるが、この勢いをさらに強

めていくことが必要」との認識で一致したことで、これまで以上に都市と都市、市民と市民が緊密に連携し、信頼関係を深めることが大切であると感じています。

新しい年は、日本・大阪と中国の交流が幅広い分野で一段と進み、相互理解・友好関係が深まるとともに、両国における経済の振興、活性化に繋がることを期待しております。

最後に、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

中華人民共和国  
駐大阪総領事

劉 毅 仁



新年を迎えるにあたり、大阪府日本中国友好協会会員の皆様にご挨拶申し上げます。

中日両国は海を隔てる一衣帯水の隣国であります。両国が友好協力関係を発展させるのは、両国と両国人民に利益をもたらすだけではなく、アジアないし世界の平和、安定と発展に寄与することでもあります。1972年に中日国交正常化が実現して以来、両国関係は各分野において目覚ましい発展を遂げました。しか

烟台汉都金属制造有限公司(山東省)

株式会社 **ダイドーハント**

代表取締役 **肌 勢 勝 彦**

大阪市中央区西心斎橋一丁目五  
アイバンビルディング11F  
TEL (06) 6271-1347

自動車部品輸出入

ジャパン・パーツサービス(株)

代表取締役会長 **石 田 修**

執行役員営業本部長 **福 岡 浩 之**  
〒541-0053 大阪市中央区本町二丁目三番九号  
JPS本町ビルディング七階  
TEL (06) 6251-9368 FAX (06) 6251-9369  
E-MAIL: info@jps-osaka.co.jp

Less is more.

（レンゴが身えるハッケーシク・イノベーションの基本です）

Less energy consumption  
エネルギーの消費はできるだけ少なく  
Less carbon emission  
二酸化炭素の発生はできるだけ少なく  
High quality products with more value added  
より付加価値の高い高品質な製品づくり



レンゴ株式会社  
本社 〒530-0005 大阪府北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL.06-6223-2371  
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストタワー TEL.03-6716-7300

パナソニック株式会社

〒571-8501  
大阪府門真市大字門真一〇〇六  
電話 〇六・六九〇八・一一二一

し、周知の原因により、ここ数年中日関係は回り道を歩きました。双方の共同努力により、2014年の末に両国は中日関係の処理と改善に関する四つの原則的共通認識を達成し、そして首脳会見を実現し、各分野における交流と協力が次第に回復の軌道に乗りました。一方、両国関係の改善は、依然として敏感且つ複雑な要素が存在しています。双方は中日間四つの政治文書と四つの原則的共通認識を遵守し、「歴史を鑑とし、未来に向ける」という精神に基づいて歩み寄り、両国関係が一日でも早く全面回復し発展するよう取り組むべきであります。

民間友好は中日関係を構成する重要な一部であります。大阪府日本中国友好協会は創設以来、友好都市等多チャンネルを通じ、豊富多彩な交流活動を行い、両国国民の相互理解と両国関係の健全な発展のために積極的な貢献をされました。この機を借りて、会員の皆様に敬意を申し上げます。大阪府日本中国友好協会は新たな年に引き続き民間友好の伝統を堅持し、各分野において友好交流活動を積極的に行い、民間友好の基盤強化と両国関係の健全且つ安定な発展のために更なる貢献をされることを心より期待しております。

結びに、大阪府日本中国友好協会の益々のご発展、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

上海市人民对外友好協会  
副会長



周 亜 軍

2016年の年頭に当たり、私は上海市人民对外友好協会を代表し、あわせて、《大阪と中国》新年号を通して、大阪府日中友好協会友人の皆様と各界の友人の皆様新年の祝賀のごあいさつを述べるとともに、共に新年を祝いたいと思います！

長年にわたり、貴協会は、中日両国人民、とりわけ上海と大阪の両地との民間交流のために、大きな貢献をされました。上海と大阪の間の経済、文化、教育、青少年交流など多くの分野において、豊富多彩で傑出した効果的な交流と協力を展開しました。

とりわけ、昨年の上海市と大阪府の友好都市締結35周年には、谷井昭雄会長の率いる代表団が上海を訪問し、祝賀行事に参加され、その間に兩宮礼三生誕100周年記念座談会を当協会と共同で開催いたしました。双方の交流は、相互理解と友誼を増進し、今後の交流を拡大しようとの共通認識に至りました。ここで、貴協会及び友人の皆様の中日友好のために尽くされたご貢献に対して、心から感謝と敬意を表します。


中日両国は一衣帯水の隣国であり、二千年以上の友好往来の歴史があります。両国が親しく交われば、

|   |   |   |   |  |
|---|---|---|---|--|
| <p>株式会社 パアグ</p> <p>代表取締役 住友 敬之</p> <p>大阪府城東区関目二丁目三番四号<br/>TEL (06) 69351705<br/>FAX (06) 69331211<br/>E-mail: info@parc.co.jp</p> | <p>ロータリージョイント<br/>スィベルジョイント<br/>ローディングアーム</p> <p>Innovations in Fluid Sealing</p>  <p>http://www.takedaworks.co.jp<br/>大阪府門真市四宮 5-1-1<br/>TEL : 072-882-8833</p> | <p>学校法人 天満学園</p> <p>太成学院 大学<br/>太成学院 大学 高等学校<br/>太成学院 天満幼稚園<br/>太成学院 大学 歯科衛生専門学校</p> <p>理事長 足立 裕亮</p> <p>〒587-8555<br/>大阪府堺市美原区平尾一〇六〇番一<br/>電話 (072) 36316373</p> <p>http://www.tgu.ac.jp</p> | <p>株式会社 日中語学センター</p> <p>中国語を学ぶ大阪中国語学院<br/>日本語を学ぶ日中語学専門学院を運営しています。</p> <p>学院長 青木俊一郎<br/>代表取締役 大藪 二郎</p> <p>〒530-0041 大阪市北区天神橋三丁目七十七番五ビル4F<br/>電話 (06) 63531244</p> <p>URL: http://www.jclc.jp/</p> | <p>おかげさまで52年</p> <p>日中平和観光(株) 大阪支店</p> <p>〒541-0046 大阪市中央区平野町三丁目四番一四号<br/>大阪TKビル<br/>TEL 06-6210-0241<br/>http://www.nichu.co.jp</p> <p>☆日中同時表示パソコン中 担当 菊池</p> |
|---|---|---|---|--|

両国人の利益に合致し、また、アジアの安定と世界平和に有益であります。そのため、わたしは貴協会の志を同じくする方々と手を携え、歴史を鑑とし、未来を展望し、中日の戦略互惠関係を推進し、相互信頼を育み、積極的に地方交流を展開し、両国関係の健全な発展のためのしっかりした基盤を作りあげたいと思います。

旧年に別れを告げ、新年を迎えます。心より皆様のご一家のご幸福と平安をお祈りいたします。上海と大阪の未来はさらにすばらしい！

一般社団法人日中経済貿易センター  
代表理事会長



**村山 敦**

新年明けましておめでとうございます。

大阪府日中友好協会の皆様方には旧年中当センターの活動に数々のご支援を賜わり有難く厚くお礼申し上げます。

ご高承の通り日中関係は二年半にわたる低迷期を双方の各方面での地道な努力の成果が実り、ようやく好転しつつあります。

私も昨年5月全国人民代表大会会議場で開催された3千人の日本人代表団の一員として参加し、習近平主席の民間交流を強化して日中友好を積極的に推

進するという力強い宣言を聴き、共感を覚えた次第です。

掛け声だけではなく中国からの訪日客は日本政府観光庁の発表によると1～9月切で3.8百万人となり、年間では5百万人に近い前年比倍増に近い伸びを示し、ホテル不足に悩まされ、爆買ともいわれる日本製品の販売額は年間約4兆円に達すると見込まれています。

特に新関西空港を離発着している中国人は全体の30%強を占めていると推定されますので、大阪、京都、神戸、奈良、和歌山等でそれぞれ得ている経済効果は東京を中心とする首都圏経済圏に次ぐものがあります。何より来日した中国人が日本のありのままを見て、観光と買い物を楽しみ、日本のファンになってくれることが日中関係を良化する最大の効果であろうと思います。

一昨年のアンケート調査では嫌中、反日が90%を超えることになっておりましたが、去年は10ポイント以上それぞれに良化しているはずです。

貴協会では11月の大阪府と上海市及び江蘇省との友好提携35周年行事をはじめとした数々の事業を成功裡に実施され、地区友好協会も新たに守口門真友好協会が発足して15地区友好協会を擁し、着々とご発展をされており、まことにご同慶の至りに存じております。

本年も私共は経済貿易交流をより一層力を入れてまいりますので貴協会と車の両輪として日中関係の

|   |  |   |   |  |
|---|--|---|---|--|
| <p>株式会社 <b>ロイヤルホテル</b></p> <p>代表取締役社長 <b>川崎 亨</b></p> <p>〒530-0005<br/>大阪府北区中之島五丁目三十一番六号<br/>電話 (06) 64481111</p> | <p><b>ホテルニューオータニ大阪</b></p> <p>総支配人 <b>細山 雅利</b></p> <p>大阪市中央区城見一丁目四十一番一<br/>TEL 06-6941-1111 (代)</p> | <p><b>中国なら ANA</b></p> <p>関西国際空港から<br/><b>6都市へネットワーク</b></p> <p>●就航都市<br/>北京・上海・大連・青島<br/>杭州・香港</p> <p><b>ANA</b></p> <p>ご予約お問い合わせは<br/>0570-029-333 (全国一律料金)</p> | <p><b>中国料理 錦城閣</b></p> <p>〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町一丁目<br/>大阪キャッスルホテル3F<br/>TEL (06) 6941-1111 八五</p> | <p>株式会社 <b>徐園</b></p> <p>代表取締役社長 <b>徐 東</b><br/>代表取締役副社長 <b>徐 秀生</b></p> <p>大阪市西区江戸堀一丁目一五番三〇号<br/>電話 (06) 64481526 (代)</p> |
|---|--|---|---|--|

発展に尽力してまいる所存ですので、なにとぞよろしくご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

大阪華僑総会  
会長

劉 中 耀



新年あけましておめでとうございます。

昨年は中秋明月祭をはじめ何かとお世話になりありがとうございます。

昨年はわが中国にとって抗日戦争勝利70周年に当り、9月3日には北京の天安門広場で世界の多くの指導者が見守る中、大閱兵式が開かれました。光栄にも私は大阪からただ一人招かれて、この閱兵式を観閲する榮譽に恵まれました。

天安門楼上での演説で、中国の習主席は国際公約といえる30万人もの兵員削減と中国人民解放軍が今後も世界の平和に貢献していくことを表明しました。

これより前の8月、日本の安倍総理は「戦後70年談話」を発表しましたが、先の「村山談話」「小泉談話」に比べると、残念ながら私たち中国人にとっては大いに不満の残る内容でした。

しかしながら中日両国は一衣帯水の隣国であり、「和すれば共に福となり、争えば共に不幸を招く」関係にあります。光明が見えてきたとはいえ、まだ真の改善には到っていない現状ですが、「民を以って官を促す」の言葉どおり、両国民が積極的に友好交流を図り友情を育むことによって、両国の友好関係が大きく前進するとともにアジアと世界の平和につながる力になることと信じております。

貴協会の皆様とは今後も意思疎通を図り、連帯して協力を進めることにより、この一年が実り多い年となることを願いたします。

どうかよろしく申し上げます。

大阪府日中友好協会  
理事長

日根野 文 三



「息長い友好へ」

明けましておめでとうございます。旧年中は、日中友好の諸行事が行なわれましたが、特に11月初旬の訪中の成功が印象的でありました。また、中国人観光客の訪日数はウナギ昇りであり、多くの中国の一般の方々が日本の文化・観光地・食べ物に接しられたことは相互理解を深める為の大きな基礎となるでしょう。

過去において、中国大好きな我々協会会員も、最初は北京・上海等の大都会へ参られたかと存じます。それを何度か重ねますと、次に西安・杭州・大連等に向かい、さらには多くの地方へと訪中の対象範囲を拡大されたご経験の方も多と思います。

現在訪日中の中国人観光客の皆様にも、東京・大阪・京都等から日本の隅々の地方都市までより一層多くの方に来ていただき、日本人民と交流を深めていただくことができれば、今よりさらに相互理解が深まることでしょう。そして、そのような中から青少年相互のホームステイや留学等が、今よりもっと拡大し、未来への息の長い友好へ連なっていってもらうことを望みます。

今の訪日を爆買いなどのブームで終らせないように、大阪府日中も、各都道府県日中友好協会と連携し、多くの観光客に各地を訪れてもらい、各地観光業にも寄与しつつ、より拡大した日中交流を促進する年になることを期待しています。

### 2016年日中新春互礼会のご案内

- と き：1月8日(金) 14:00~15:30
- と ころ：リーガロイヤルホテル  
3階「ロイヤルホール」
- 主 催：一般社団法人日中経済貿易センター  
NPO法人大阪府日本中国友好協会
- 会 費：5,000円 (当日申し受けます)

## 草の根 しっかり 固めよう

### 新しいスタートの年に

池田市日本中国友好協会  
会長 倉田 薫



新年明けましておめでとうございます。

いろいろ、いろいろありまして昨年12月25日から池田市長に返り咲いています。

そんな訳で、昨年は蘇州市の寒山寺の除夜の鐘イベントには池田市日中友好協会の会長及び蘇州市の友好都市池田市の市長として参加して参りました。

大阪府内でも中国に友好都市を有している基礎自治体は多数ありますので、今年は地区日中の民間交流の活動をそれぞれの基礎自治体がバックアップできる仕組みづくりについて府下の首長さん達とも話し合う機会をもつことができればと思っています。

今年の総会までは二足の草鞋ということになりますが、総会以降は行政としてきちりと池田市日中の活動を支えて参りたいと考えています。

日中関係、今年も何かと話題の多い一年となりそうですが、民間交流という観点から隣国中国との友好交流の輪がますます拡がることを期待しています。

本年も昨年にも倍のご交誼をお願い申しあげ、新年のごあいさつといたします。

### 上海嘉定区との 30周年記念行事を進めます

八尾市日本中国友好協会  
会長 田中 順治



平成28年の新春を迎え、心からお祝いを申し上げます。

本年は、1986年9月に八尾市と、友好都市である上海市嘉定区が「世界平和のために子々孫々まで両市区民が、経済、教育、文化、芸術、スポーツ等あらゆる交流を行なう」ことを目的に、友好都市締結をおこなって30年という、協会にとっても誠に記念すべき年にあたります。

記念式典などは、11月頃に上海市嘉定区にて行われる予定ですが、当協会においても、旧友との心温まる交流を楽しみに、訪中団を結成する準備をおこなっているところでございます。

30年という歳月の中、日中間には1990年代以降の「政冷経熱」と言われた時代や、近年の領土を巡る問題など、政治的には必ずしも良好とばかりは言えない出来事もありました。

しかしながら、固く誓った八尾市と嘉定区との友好の絆が、現在も脈々と続いていることは誇らしく、協会としても喜びに耐えません。

私の国際交流の理念は、歴史や風土、宗教等お互いの生活習慣やものの考え方、国情を十分理解して、決して押し付けや華美でなく、心と心で付き合うものであり、見せかけでは誠が通じないものだと思っております。この理念のお陰で、今日まで多くの友人が出来ました。

この30周年を契機として、故きを温めて、新しい未来に向かって夢のある交流事業を進めて参りたいと考えておりますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。



本年が、皆様方にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 交流促進へ新たな出発を

高槻市日本中国友好協会  
会長 奥本 務



明けましておめでとうございます。

今年こそ、日中友好の活動が数年来の停滞を脱し、両国の関係改善、民間交流の進展によって大きく飛躍することを願わずにはおられません。最近の全国と大阪の日中を中心とする様々な交流事業を見ましても、新年はさらに期待できるのではと、明るい希望をふくらませている次第です。

高槻市日中においては、新年の協会運営を展望するに当たり嬉しい報告が届いています。昨年10月に当協会の中居・山本両理事が本市の友好都市である常州市を訪問し、心のこもった歓迎を受け、同市要人も会談して意見交換する機会をもてたことです。終始なごやかな雰囲気の中で「今後とも良き交流を続けていきたい」と伝えると「これからも交流を促進したい」との応答があって、両理事は、今後の具体的な交流の前進につながる確信を得た、ということでした。

大阪での日中交流会議の参加者から誘いを受けた個人レベルの結び付きが、協会の活動に力強い励みと活力を与えてくれたことは間違いありません。

当協会の昨年の主だった事業は高槻まつりへの出店、ビアパーティーや中国料理教室の開催、それに「高槻日中だより」の発行など、それぞれ熱心な取り組みによって所期の成果をあげることができました。また、日中交流の先駆者・高崎達之助の生家再築推進委員会も組織体制を整え、新たな歩みを始めたところです。

今年も府日中はじめ関係団体、各位のご指導をよろしく願いいたします。

## 「而立」に向けて

熊取町日本中国友好協会  
会長 林 雅清



あけましておめでとうございます。

今年は日中間の各方面における交流がますます活発になっていくことを期待しながら、初春のお慶びを申し上げます。

当熊取町日中友好協会は、昨年7月に設立20周年を迎え、各界の皆様からのご協力を得て盛大な記念祝賀会を執り行うことができました。ここに改めて感謝申し上げます。

さて、成人した当協会が次に目指すのは、10年後の「而立」です。これまでの10年間は、講演会やシンポジウムなどで多くの方々からたくさんのお話を学んだ「勉強の10年」「学問の10年」でした。人も10代ではしっかり勉強します。そして20代で社会に出、それまでの学びの中で得たことを生かしながらより多くの他者と交流します。

ビジョン心理学では、人の成長モデルは「依存」から「自立」を経て「相互依存」という段階に至るとされます。人も組織も、生まれた直後は他者に依存しないと生きてゆけません。ある程度成長すると、自分(自分たち)だけでやっていけるとする「自立」の段階に入ります。しかし、その自立は「偽りの自立」、依存する者との「共依存」によって存在できる「自立」なのです。「本当の自立」とは、お互いがリーダーシップを発揮できる真のパートナーシップ、すなわち「相互依存」の関係が構築できる状態なのです。

孔子の言う「而立」も、その相互依存、つまり本当の自立ができていない状態ではないでしょうか。自立する者は、当然「自律」もできるはずですが。

日中両国がお互い真の意味で而立(自立・自律)した国家であり、両国が安心して相互依存できるパートナーシップを「ビジョン」として、私たち日中友好協会は活動しています。当協会も「而立」に向けて、今後は「交流の10年」を目指したいと思えます。もちろん人は一生勉強、これまでの10年の流れも尊重し、交流しながらも学び続けます。

今後とも皆様のあたたかいご支援とご鞭撻を、よろしくお願ひ申し上げます。

## 時代の変化とともに、 その変化に適応する協会に

枚方市日本中国友好協会  
会長 山中 卓



新年明けましておめでとうございます。本年も枚方市日中ともどもよろしくご指導、ご厚誼のほどをお願いいたします。本年は申の年。「悪凶が去る」とか。日中関係も何となくぎくしゃくが薄れかけ、明るい光が見えはじめてきたように思われます。

枚方市日中は創設以来35年の年月が経過した今、日中友好親善事業の隆盛に貢献された先人達に敬意を表し、そのキラリと輝く幾多の事業を誇りたい気持ちですが、現時点では会員の退会や高齢化が進み、活動が低調気味の細々とした会となりました。時代がそうさせたのか？ 会員のやる気がうすれたのか？ 考えさせられます。

「時代の変化とともに、その変化に適応し、会の方針、会の活動も変えていかななくてはならない」と、ある会で教えてもらったことがあります。

枚方市日中では事業を見直し、何が必要なのかを検討し、勇気をもってその改革に着手する時期と考えています。活気に満ちた楽しい運営に拍車をかけます。そしてフレッシュな感覚をもった若い人をリーダーに就け、若者でにぎわう会に再構築！ 必ず道は開けます。どこまでやれるか？ 枚方市日中のこれからの課題であります。

来る年度の事業計画のひとつ「仲秋明月の会（9月下旬開催）」は、関西外大の中国人留学生を招いて、早く日本の生活になじみ、日本の文化、風習を理解し、日本の大学で学ぶ喜びに感謝してもらうために、「ようこそ枚方へ」と心からのおもてなしを演出し、信頼感、友好親善を培うことを目的とする総合的なイベントです。今後は参加者の幅を広げ、内容も留学生にとって思い出に残るとともに今後の生き方に変化をもたらす、親日感情を深められるようなものにし

たいと考えています。この事業をもっともっと発展させ、枚方市と上海長寧区との友好都市交流と関連づけて、枚方市の一大民間事業としたいなあと思います。

枚方市日中は細々ながらも堅実に前を向いて進んでいますが、谷井会長はじめ皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、併せて皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

## お互いの信頼、感謝、 思いやりを大切にして

堺日本中国友好協会  
会長 井内 哲義



新しい年を迎えられて、皆様は希望の満ちた年になるように願っておられる事と思われます。

今年は申年という事で、大いに智恵を働かせ友好交流を前進させたいと願っております。それにはお互いの信頼、感謝、思いやりが最も大事な事でありませう。

昨年、日中の国家間の緊張も少しは緩んできたと思われます。我々、民間交流は以前から活発な交流を推し進めて来ており、民間の力を結集して日中の友人作りに進んで行きたいと思ひます。それには会員の皆様の益々のご支援とご協力を頂きたいと願っております。

## 「見ざる、言わざる、聞かざる」 ではなく

吹田市日本中国友好協会  
会長 高津 昇



新年あけましておめでとうございます。

今年は丙申の年、見ザル、言わザル、聞かザル、という言葉を表した猿の飾り人形があります。沈黙は金なりということでしょうが、雄弁というところまではいかずともやはり伝えるべきところは言い、情報は聴き、百聞は一見にしかず、観る事としてサル年を歩んでいく所存です。

昨年は何年ぶりかで当協会訪中旅行団団長として

訪中いたしました。雲南省麗江古城に参りました。この訪中については、既に麗江市と13年前から友好交流関係を結んでおられる飛驒高山市さんの支援を戴き、麗江市では大歓迎を受けました。高山市は市民海外派遣と称して毎年20名の中学生を送り出しています。今まで知らなかった日中友好活動を知り大変勉強になりました。今年はこのお礼をもかねて飛驒高山市表敬訪問を企画しております。

また昨年最後の行事、忘年会では阪大、関大の中国人留学生が多く参加して、清朝時代の旗袍姿の女子学生と、着物姿の会員とが華を添えてくれ、60名を超える参加者が年忘れのひとときを共にしました。

今年も楽しみと実りある一年を目指して参ります。

## 継続の大切さ

岸和田市日本中国友好協会  
会長 武井 俊成



新年あけましておめでとうございます。

昨年も府日中始め多くの地区日中の皆様にお世話になり有難うございました。

岸和田市は中国との友好都市が二か所ありますが、現在は二年に一度参加の泉州国際市民マラソン大会への選手招待のみに終わっています。行政に交流についての考えを聞いてもマラソン以上の交流は考えていないとのことと、現在の岸和田市日中のメンバーで交流締結された当時を知っている人がおらず、引き継ぎも出来ずに来ている状態なので、中国との交流はほとんどできていない状況で、今後どうしていくか模索しているところです。

当協会が現在活動の中心目標としているのは近隣の地区日中との交流、地域の留学生との交流支援活動、市民活動への参加、そして会員が気軽に参加できる行事と新規会員の増強です。現在はこれらの活動を中心課題として取り組んでおります。

27年度は熊取町日中の創立20周年記念事業と熊取町日中さんが担当され犬鳴山で行われた地区協会交流会への参加、阪南市日中さんとは春節の集いと中

秋節の集いに参加させていただき、また春節の集い、秋の陶芸教室、ミカン狩り、中国音楽の集いに参加いただき交流を深めました。お互いの協会の活動を知ることで自分たちの活動を振り返ることができ有意義な交流となりました。

熊取町の大阪観光大学の留学生との交流は昨年度から始まり、9月の岸和田秋祭りでの外国人向けの観光ボランティア、陶芸教室、ミカン狩りの参加と続き、留学生が地域と触れ合うことで留学生たちが地域を少しでも理解し、自己の積極性を高めてもらえばと思っています。なお、今後煎茶を楽しむ会を予定しており日本の伝統文化も知っていただく予定です。

岸和田市日中でできること、やらねばならないことを考えると、出来る範囲は小さいですが地道に民間交流活動を続け、相互理解を深められるよう進めていきたいと考えております。

## 会員増強を図り「行動する協会」に

豊中市日本中国友好協会  
会長 田中 潤治



2016年の新春を迎え謹んで新年のご祝福を申し上げます。

過日、日中経済協会と日経連が初めて訪中団を派遣し北京の人民大会堂で李克強首相と会談、その席上、安倍首相は昨年の外国人訪日旅行者が1,631万6,900人となったことに触れ、日中関係の雰囲気も劇的に改善されつつあると発言されていました。でも日本ではこれら観光客の爆買いに驚き、宿泊施設不足が深刻な問題となって普通の家庭の施設まで開放する状態ですが、来日された中国人の方々の日本に対する印象はすこぶる好評です。これは日中の人民が表向きはともかく心底では友好を望み、誠心誠意での対応をされているからだと考えられます。

豊中市日中友好協会ではこの様な絶好の機会を逃すことなく計画したすべての事業を積極的に行い、日中友好に努めてはおりますが、山あり谷ありでなかなか旨く行かないのが現状です。

任意団体である豊中日中友好協会が1地区協会だけで友好交流活動を続けても効果が薄く、限界があ

るからです。日中友好を願う同志が再度知恵を絞り組織について考え、大きく行動することが大切ではないでしょうか。豊中日中では先ず法人化をめざして会員の拡大を図るとともに、行動する協会にして、大阪府日中の一員としての役割を果たせるよう最善を尽くすよう頑張ります。皆様のご支援をお願いし新年のご挨拶と致します。

## 新事務所をベースに 活動の輪を広げます

河内長野市日本中国友好協会  
会長 大原 一郎



2016年が明けました。

今年は新生河内長野市日中友好協会にとって2年目の挑戦となります。

当協会は昨年4月にアジア文化芸術連盟のご厚意に預かり、協会事務局を河内長野駅裏の如来会館に移すことができたおかげで、次々と地元中国朋友の皆様が会員になって下さり、同会館を使って総会やさまざまなイベントを成功裡に催すことができました。

何より嬉しいのは、同会館にある協会事務局に来ていただき、中台朋友の皆様と食事を作ったり、水墨画や太極拳に勤しむ皆様と交流できることです。今までは日中友好協会の活動といっても、なかなか中国文化に直接触れる機会を作ることができなかったので、本当に隔世の感が禁じ得ません。

今年は市日中友好協会の新規事業として『たのしい中国語講座』を始めます。場所はもちろん如来会館です。中国語を通して簡単な中華料理の作り方を覚えたり、中国式マージャンの相手になることもあるかもしれません。中国語だけでなく中国文化にも親しんでもらえる体制を目指します。

## 新年のごあいさつ

藤井寺市日本中国友好協会  
会長 井関 功



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の日本と中国では、両国間における領土問題や歴史認識問題、環境問題などの早急な対応を要する課題を抱えています。そのため、日本中国における国民感情は、良好とは言い難いかもしれません。

ですが、そういった背景がある今だからこそ、実利や営利等の価値観にとらわれない、民間レベルでの交流が必要不可欠であると感じております。

日本中国だけでなく、現在の国際社会において国家間の相互理解がなければ、お互いの発展は遠のいてしまうと思われま。

今後、関係団体の皆様方のご指導を受けながら、地道に着実に交流を深め、互いに信頼できる関係を築けるよう、充実した事業活動を目指して参ります。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

## “地域に日中友好の華を 咲かそう”

松原市日本中国友好協会  
会長 牛浜 龍男



新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはこの良き新年をお迎えのこととお慶びのご挨拶申し上げます。

昨年中は色々とお世話になりました。厚く心よりお礼を申し添えます。

さて、今年一年を考えると、昨今の領土問題、歴史認識、環境問題など色々な諸問題が起こっております。政府も即対応とまでは行かない現状だと思えます。微力ながら私たち各地区協会は交流活動を広げ、

結集した足場に立って相互理解と信頼関係を築いていく民間友好団体とならなければならないと考えます。

確かに相互理解と言っても、両国民にとってはそう簡単ではなく、お互いに知らない事が多分にあると思います。先ず異国を知る事や日中間に興味を持つ人達との実情を気軽に語り合える交流の場を通して、少しずつ人的交流を深めていくことを一緒に実践して友好関係を築いていきたいと願っています。

当協会では言葉も大切ながら顔同士が見える、地域の市民の諸活動の場に積極的に参加して一緒に交流を深めて参りたいと考え、そうした活動を目指しています。

今後とも皆様方からのご意見やご提案、そしてご指導を賜りながら地域に根ざした草の根交流に邁進して参りたい所存です。

ともに咲かせましょう 地域に日中友好の華を……

最後に皆様方にとって今後のご活躍とご多幸、そして今年がより実り多き一年になりますように心からお祈り申し上げます。

## 自分の目で見、体験する、人に触れる活動を

阪南市日本中国友好協会  
会長 中務 武志



新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

当協会にとって昨年の大きな活動のひとつは、しばらく直接交流がなかった蘇州市呉中区との2度にわたる交流でした。4月には20名で呉中区を訪問、10月には副区長一行6名が来訪しました。

しばらくぶりの訪中で改めて実感したのは「自分の目で見、体験する、人と触れる」ことの大切さでした。メディアを通じて多くの中国情報が流れ込んでいますが、メディアが掬い取らない、あるいは掬い取れない「そうだったのか」と目からウロコの体験、情景がいくつもありました。

これは現在街に溢れている中国人観光客にとって同じでしょう。たとえ「爆買い」が主目的でも実

際に街を歩き、日本人に触れた体験は、日本に対する新しい認識をもたらせているはず。「相互理解」の芽はこんなところからも育つのでは。その意味でも、中国を訪れる一般の日本人が少ないのは残念なことです。

昨年、ある役員からご自分の体験に基く提案がありました。地域に在住する、あるいは訪れる中国人のための「中国語通訳ボランティア」の組織化です。当協会が中心になって中国語のできる人をプールし、行政や諸機関、市民からの要望に応えようというもの。まだ緒に着いたばかりで、運営等についても問題点はありますが、今年はなんとか形を整えたいと思っています。

また、会員増強にも力を注いでいます。そのため市の広報紙やミニコミ誌などでPRに努めましたが、あまり効果がなく、やはりマンツーマンに限ると、会員、役員が友人、知人の勧誘に努力してくれた結果、10人近い新会員を迎えることができました。この成果は今後の協会運営の大きな力になるでしょう。

## 日中の環境と省エネ対策に係る取り組み

守口門真日本中国友好協会  
会長 原 正和



2016年を迎え、積年の御礼と共に謹んで新年のお祝詞を申し上げます。

去年、大阪府日中友好協会、谷井昭雄会長の呼び掛けにより、大阪府と上海市は、友好交流提携35周年記念行事を共同で開催した。

大阪府下の地区協会の多くも参加し、谷井会長に随伴して11月3日関西空港を飛び立ち東シナ海を越えて上海浦東空港へと降り立った。

日中間の政治問題は両首脳間の対話が始まり関係改善に向かいつつあるが、未だ完全解決とは至っていない中で、上海市人民対外友好協会等と親善交流事業を行い、2日目の11月4日には、大阪府が上海国際会議センターで、省エネ・環境技術フォーラム

を主催し、日中の多くの関心者が集まり盛大に開催された。

近年中国の環境汚染が経済活動の障害となり、過去最大の大気汚染に国民からも非難が集中し、航空機の欠航が相次ぎ、高速道路が閉鎖され渋滞が常態化している。

これ等の中国の環境問題は日本経済にも影響を及ぼし、経済的な結びつきは緊密かつ相互依存であるが故に、変容した経済の歪みを問い直し新たな時代を乗り越える時期が到来しているのである。

茲で中国の将来に可能性を見つけ、省エネと環境問題の取り組みを行う為の仕組みを醸成し、両国が共に未来に向かって進め引き継がれて行かなければなりません、日本が得意とする省エネ環境事業は成長の柱であり、需要を増大しマーケットの拡大に繋がる。

如何に中国の経済が減速したとはいえ、大きな経済規模とその成長は、今後も世界の経済を牽引するであろう。

日本の省エネと環境技術が中国を変える!! 日本が誇る高度な省エネと環境技術を日中が共に進めて更に改善へと向かい、新たな友好関係の構築を目指して行かなければならないと考える。全ての日中友好協会の皆様の今後益々のご活躍をお祈りいたします。

## 地域に密着した 友好交流活動を

大阪三島日本中国友好協会  
会長代行 小林 貞夫



新年明けましておめでとうございます。2016年は申年で、昨年以上に日中友好交流が進展することを強く期待します。本年も三島地区（茨木市、摂津市）での日中友好活動を役員、会員一同進めていきます。当協会は、府下14番目の地区協として設立され今年で5年目を迎えます。

大友康亘会長が2013年7月に緊急入院され、以来リハビリに努めておられますが、車椅子が必要となっ

ており、お元気ではありますが未だ公的な場へはご遠慮されています。一日も早く元気な顔と声を聴かせて頂きたいと思っています。

さて、去年は、6月27日に第5回総会&七夕ゆかた祭りを、辻紫岳文化担当理事のご協力で開催。中国総領事館から、馮帆副領事と領事館から女性や子供さんなどご家族を招待して、大好評を得ました。5月には「お父さんお母さんの手作り餃子を楽しむ会」も開催し、講師の曾麗紅さん（河北省唐山市出身）から中国家庭料理餃子づくりの手ほどきをうけ、摂津市民など23名が楽しみました。

10月の明月祭では辻紫岳文化担当理事を中心に「吟を演じる」として出演、北摂4地協ブースでの「中国茶」等の販売を行い、4年連続黒字化を達成しました。

11月には、「2015年日中友好青少年書画展」を開催。長尾千里文化担当理事を中心に、今年は南京市蓮花実験学校の子供たちから書画の出展があり、受賞者、家族で表彰式は大変な賑わいとなり、延べ500名を超える入場者で大いに盛り上がりました。

今年も、「手作り餃子を楽しむ会」や「日中友好青少年書画展」などを開催し、地域に密着した日中友好交流活動を進めます。併せて、茨木市・摂津市で活動されているNPO、市民との交流、在住中国人留学生、中国の方々との交流をめざします。どうぞこれからも府下各地区協会の皆様、府日中の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。共に頑張りましょう！

# 友誼交流レポート



## 青年部 手作り餃子ビアパーティー開催

青年部主催の「手作り餃子でビアパーティー」を9月26日10時から大阪市中央区東心斎橋の「人人餃子城」で開催しました。参加人数は14名。お店の方や板橋吉弘・青年部長らの指導のもと、みんなで一緒に皮をこねるところから餃子を作り、作った餃子を味わいながら交流を深めました。



新たに青年部に入った岡田将明さんはじめ、参加した日本の青年たちは、その熟練の技と本場中国の餃子の味に感動していました。

またこの場では、青年部の活動の活性化に向けて青年部長の下に新たに副部長を日中双方から3名ほど選出することや、地区協会との連携も図ることなどが話し合われました。



## 2015年中秋明月晚餐会を 関西在職中国人交流協会と共催で

昨年に続き、中秋明月晚餐会を関西在職中国人交流協会と共催で9月27日、天王寺の楓林閣で開催した。当協会からは20名ほどが参加した。

中国駐大阪総領事館からも孫志勇副総領事らが参加され、若い在職の中国人を中心に合計350名以上の大盛会となり楽しい交流ができた。



9月27日 阿倍野ハルカスを見上げながら乾杯

## 関西ブロック女性交流会 10月22日



滋賀県守山市で2府4県と三重の7府県の女性が交流する会が開催された。大阪からは、戸毛敏美女

性委員長、川上和副委員長(前・女性委員長)、木村静子さん、長谷川由子さん、寺本久子さんの5名が参加。どの地区でも高齢化と財政難、会員減の課題を抱えていても、女性たちの心は、ひとつになれると確信しました。(寺本久子さんからの報告より抜粋)

総領事館政治文化室に新たにご着任

### ■ 劉楚楚領事アタッシュのご略歴



1992年 中国湖北省武漢市生まれ  
2010年 北京外国語大学  
2015年9月 中華人民共和国駐大阪総領事館領事アタッシュ

# 「中秋明月祭 大阪2015」開催

28,000名の来場者を得て、盛況裡に開催された

第7回目となる『中秋明月祭大阪2015 ～友好・共生～』が10月10日-11日の両日、史跡難波宮跡で開催された。

開幕式では主催者として実行委員会の胡士雲実行委員長、谷井昭雄名誉顧問(当協会会長)が開催に尽力いただいた方や来場者に対して感謝の意を込めた挨拶を述べた。続いて共催者を代表し、劉毅仁総領事と村上龍一・大阪市副市長が祝辞を述べた。来賓を代表し、小西禎一・大阪府副知事が祝辞を述べ、他の来賓や関係者の紹介、テープカットが行われ、開幕した。

舞台では2日間にわたり、関西在住の芸術家らによる中国伝統音楽や演出の披露、チャイナドレスファッションショー、「OSK日本歌劇団」による特別公演、大阪三島の紫岳会による詩吟など様々な演目が行われ、来場者は舞台を見入っていた。

場内には多数の飲食や大阪府日中合同ブースをはじめとする物販、旅行会社・航空会社・銀行など情報ブースが設けられた。また、中国駐大阪総領事館による中国観光地写真展や国務院僑務辦公室・広州市僑務辦公室から派遣された広東料理団による実演販売が行われ、昨年好評を博した来場者参加イベントの「日本クイズ・中国クイズ」なども行われ、来場者は中日両国のグルメを満喫するなど、中日両国についての認識を深める機会となった。

2日間とも好天に恵まれ、地下鉄構内やメディアでの広報宣伝もあって2日間で約28000名に会場いただき、成功裏に閉幕した。



開幕式 テープカット



大阪府少林寺拳法連盟による迫力ある演武も披露



大阪三島 紫岳会のみなさんが詩吟を披露



大阪府日中ブースで青年部のみなさんと



堺日中ブース前で



## 第33回全日本中国語スピーチコンテスト 大阪府大会を盛会裏に開催

当協会主催の第33回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会が、10月18日(日)に中国駐大阪総領事館、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、関西・大阪21世紀協会の後援を受けて大阪スカウト会館で開催された。

審査員には李春生・中国駐大阪総領事館教育室室長、胡士雲・神戸学院大学教授、戸毛敏美当協会副会長・関西外国語大学孔子学院参事をお願いした。

エントリーは朗読部門では一般の部に14名、高校生の部に4名、大学生の部に26名、暗誦部門に3名、スピーチ部門では大学生の部に3名、一般の部に2名の合計52名で競われた。

優勝者は朗読一般の部で矢野節子さん、高校生の部で渡辺彩香さん、大学生の部で畑翔斗さん、暗誦の部では平田奈那さん、スピーチの部では一般の部で浅岡真美さん、大学生の部で神戸市外国語大学・小田真璃奈さんが選ばれた。朗読の大学生の畑さんとスピーチの優勝者お二人は全国本部の音源審査に合格し、スピーチのお二人は1月10日に開かれる全国大会に出場が決まった。ご健闘をお祈りします！



出場した皆さん、審査員の先生方と記念撮影



優勝した矢野さん、小田さん、浅岡さん(左から)



大阪女学院大学からの多くの出場者と先生方

## 日中親善ゴルフ大会を開催

10月22日、日中親善ゴルフ大会が枚方カントリー倶楽部で開催されました。

春には総領事館からは所用のため参加はありませんでしたが、今回は総領事ら2名も参加して行われました。プレー後は懇親会が行われ、和やかに親睦を深めました。



プレー前の記念撮影

## 関西ブロック交流会を宇治で

11月14日(土)宇治の黄檗山萬福寺に関西の5府県協会から16名が集まり、活動内容の報告や課題などを共有する交流会が開催されました。昼食会には総領事館から劉毅仁総領事など4名が参加され、普茶料理を楽しみながら懇談しました。



# 大阪府・上海市友好都市提携35周年記念 大阪府日中友好協会訪中団 11月3日(火)～7日(土)



訪中団の代表者と上海市人民友好協会との会見



周亜軍副会長から谷井団長に記念品の贈呈

大阪府・上海市の友好都市提携35周年を記念する大阪府日中訪中団（団長・谷井昭雄会長）一行23名は11月3日に上海到着、上海市人民对外友好協会・周亜軍副会長との会見の後、懇親夕食会が開催された。夕食会には先に中国入りしていた豊中市日中訪中団9名も加わり、谷井昭雄団長、周亜軍副会長のあいさつに始まり、楽しく親交を深め合った。



11月4日午前、今回の上海訪問の目的の一つである当協会元理事長・雨宮礼三氏の生誕100周年の記念座談会が宋慶齡陵園（上海万国公墓）内の会館で開催された。座談会では上海側：周亜軍・対友協副会長、俞彭年・副会長、陳一心・上海国際友人研究会会長、日本側：谷井昭雄会長、大藪二郎副理事長、原義雄・遺族代表（義弟）がそれぞれ故人への想いを述べた。

陵園内にある雨宮礼三夫妻の墓碑は中国、上海側の特別配慮によるもので、日本で亡くなって中国に墓碑が建てられた人は稀である。座談会終了後に献花を行ない、ご夫妻のご冥福を祈った。



宋慶齡陵園にある雨宮礼三夫妻の墓碑に献花



11月4日午後には、当協会も後援の「環境保護省エネ技術フォーラム」が上海国際会議中心で開催され、主催者代表として植田浩・大阪府副知事と上海市科学技術委員会社会発展処・鄭広宏処長が挨拶し、藤田正憲・大阪大学名誉教授が「環境問題解決への歩み ～大阪の事例を中心に～」、李建華・同济大学教授が「中国スポンジ都市の発展戦略と生態文明建設」と題しての記念講演があり、日中双方から6社の発表もあった。

11月5日、上海から新幹線で南京市に移動、南京では梶本徳彦副会長が団長になり、南京市内視察後に江蘇省人民対外友好協会との交流を行なった。大阪府は江蘇省とは友好都市締結は結んでいないが、35年の長きに亘り友好交流を積み重ねてきた。今回、江蘇省人民対外友好協会の徐龍副会長の長年の支援・貢献に対し、梶本団長より感謝状を贈呈した。

11月6日、南京から新幹線で蘇州市に移動。この日は気温29度を超える暑さ。昼食後に寒山寺に行き、池田市日中前会長、当協会名誉副会長・藤尾昭氏の記念碑に青木俊一郎副会長の音頭で三鞠躬の礼で献花をし、藤尾さんのご冥福をお祈りした。夜は洪軍・蘇州市外事弁公室礼賓処処長、池田泉州銀行蘇州事務所の方々との懇親夕食会を行なった。

11月7日、朱家角を見学後、上海から帰国した。

## 江蘇省高齢介護国際セミナー 大阪府日中訪中団 11月2日～6日

11月3日～4日、江蘇省宜興市にて「高齢介護事業の国際間協力と発展」をテーマにしたセミナーが開催された。大阪からは当協会から団長として清水正弘副理事長、秘書長として江原均副理事長、大阪府社会福祉事業団から副団長として行松英明専務理事と三谷伸次郎事務局局長が参加。5日には塩城市の介護施設とシルバーシティ（建設中）を視察した。5日夜には府日訪中団と南京で合流し、6日に帰国した。



11月4日の夜には堺日中一行12名も加わっての夕食会の後に、黄浦江クルーズ船を借り切って大阪府・上海市友好都市締結35周年記念の懇親会が開催された。祝偉敏・外事弁公室副主任と植田浩府副知事の挨拶、遇建浩・対友協副会長と谷井昭雄会長の乾杯の発声があり、友好ムード溢れる中で旧知の友人との再会もあり、和やかに人と人との交流を深めることができた。



江蘇省人民対外友好協会との懇親夕食会の後に記念撮影(上)、徐龍副会長に感謝状を手渡す梶本副会長(左)



## 『文化の秋』の文化茶話会 9月、11月と好評裡に開催



9月26日 講師に武内孝之氏を招いて

9月26日、講師に武内孝之氏・当協会相談役、熊取町日中前会長をお招きして、『万葉集のなかの異国一万葉仮名の成り立ち、仏教伝来、道教の影響―』の演題で講演していただいた。アルタイ語について、当時の東アジアの歴史情勢・地図など豊富な背景説明から万葉集についての興味深いお話をして頂き、参加者からは非常に勉強になったとの声が寄せられた。



11月28日 講師の坂和章平氏を囲んで記念撮影

11月28日、講師に坂和章平氏・弁護士、映画評論家をお招きして『坂和的中国電影論と日中友好の楽しみ方』と題して、今回の2時間バージョンの講演資料を基に楽しくお話を伺った。坂和氏は「ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る!」「SHOU-HEI シネマシリーズ」など多数の著作があり、北京電影学院で坂和賞が発足し、審査委員会主席に選ばれるなど大活躍中。次回もお話を聴きたいとの声が多かった。

## 忘年会 96人が出席して盛況

12月4日、はじめて天王寺「楓林閣」を会場として開催。

来賓として中国駐大阪総領事館より孫忠宝副総領事、周明輝副領事、馮帆副領事、劉楚楚領事アタッシュの4名の方にご臨席頂きました。大阪府からは間もなく上海事務所次長として赴任される山本太郎氏、また大阪華僑総会・陳進元副会長、西日本華僑華人联合会・畢廣軍会長、中国国家観光局や中国人留学生3名ら多数の方が参加された。

はじめに関西大学中国留学生学友会会長の廖天培さんによる二胡と歌の披露があり、引き続いて谷井会長、孫忠宝副総領事の挨拶、日根野文三理事長の乾杯の発声の後、歓談に移りました。

商品券、旅行券、食事券や豪華多様な景品を会員の皆様から提供して頂いての抽選会では、事務局の柴田さんの司会で大いに盛り上がりました。

最後に梶本徳彦副会長の中締め挨拶で好評のうちに終了しました。



廖天培さんによる二胡演奏



## 大阪太極拳協会 高田 明元会長を悼む



一昨年暮れお宅を訪ねた折、頭に少し傷を作っておられました。奥さんの説明によると、台所の段差のところ転んだとのことでした。耳が遠くなり、足も弱ってトイレにも介添えが必要だが、まだ元気ということでした。奥さんは、デイサービスの日には、スイミングに行き体力を付けているとのことでした。

昨年も年末にはお訪ねするつもりでしたが、11月に雨宮礼三生誕100年で訪中する前に、突然、すでに葬儀が終わったとの知らせをいただきました。大阪武術太極拳連盟前会長の曾我部氏も訪中することになっていたのですが、帰国してからということになりました。

雨宮礼三氏が大阪太極拳協会の初代会長で、高田氏は第2代の会長を長く務めてくださいました。そのあと、わたしが4年前から第3代の会長を引き受けています。そして、訪中直前に高田氏が亡くなるなんて、奇しき縁を感じました。上海の宋慶齡陵園の雨宮礼三墓にも報告いたしました。

帰国早々、坊さんも来られるふた7日に、太極拳関係者がそろってお宅に伺いました。大阪府武術太極拳連盟・曾我部篤爾前会長、山田証二会長、大阪太極拳協会・川崎雅雄理事長、西村誠志副理事長、兵庫県太極拳協会・辻本三郎丸理事長とわたしがお参りできました。

高田会長は、本人が剣道の居合いの達人(8段)でしたので、武術太極拳に初期段階から関係してくださいました。箕面太極拳協会ができたのは、1980年代の初めで、箕面市役所の教育委員会に勤めておられました。雨宮初代会長の逝去により2代目会長に就任していただきました。全国の武術太極拳連盟の

副会長を長く務め、亡くなるまで名誉副会長でした。

大阪府日中友好協会は、大阪府太極拳の立ち上げに、全面的に協力したので、両者の関係は深く、高田氏は協会の役員も長く務められました。副会長、理事長、そして関西ブロックの代表理事、全国本部の理事、副理事長など務めていただきました。

私にとっては深いつながりがあったことになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

高田会長の太極拳と日中友好協会の略歴を記します。

2015年10月31日死去。享年91歳

(1915年〈大正14〉5月28日生)

＜略歴＞ .....

NPO法人大阪府日中友好協会 元副会長・理事長

理事長 1997年5月～2001年5月

副会長 1997年5月～2011年5月

日中友好協会 1997年6月より理事、副理事長

(社団)日中友好協会 2000年5月～ 理事

(社団)日中友好協会関西ブロック代表委員

2000年8月～2001年12月

(公社)日本武術太極拳連盟

常任理事(常務理事) 1987年より

副会長 2006年7月1日～2010年6月30日

名誉副会長 2010年7月1日～現在

NPO法人大阪武術太極拳連盟

会長 1997年6月～2011年6月

名誉会長 2011年7月～現在

NPO法人大阪太極拳協会

会長 1987年～2002年

大阪太極拳協会 会長 大藪 二郎

堺  
目  
中

## 姉妹都市「連雲港市」を 5年ぶりに訪問



連雲港市の港にある記念碑前にて、ここからオランダ・ロッテルダムまで総延長10,900kmにおよぶ鉄道「ユーラシア・ランドブリッジ」が結ばれ、1992年に国際コンテナ列車が発出し東の起点となったことを記念して設置

昨年、当協会は5年振りの連雲港市への訪中団(13名)を結成して11月4日～11月8日、上海～連雲港～青島と5日間の交流を深めて参りました。

- 11月4日 上海では魯迅記念館等を訪問後、「大阪府・上海市友好交流提携35周年記念」のクルーズ船による交流に府日中訪中団の皆様と共に参加しました。
- 11月5日 夕方19時45分、連雲港空港に到着、外事弁公室鞠副主任等のお出迎えを受け、夕食会の後は翌日の表敬訪問に備え早めの就寝しました。
- 11月6日 連雲港市表敬訪問。中国側は曹営林常務副市長、李亜外事弁公室主任、他に市幹部7名の皆様に大変温かい歓迎を受け、本当に和やかなうちに5年振りの親交を深めてまいりました。

連雲港市の様子は5年前とは様変わり、港湾の整備、市内道路網の整備、そして街並の高層ビルの多さ、また宿泊した連雲港花果山国際ホテル

の豪華さには団員一同唖然としてしまいました。

- 11月7日 陸路バスで青島へ。高速道路が整備されており、約3時間半で到着しました。ちなみに以前は10時間位かかっておりました。
- 11月8日 18時35分青島発、東方航空21時35分関空着にて全員無事に帰国出来ました。

今回の訪中を振り返って、中国の発展は目覚ましいものがあり、団員一同その進歩に感心し、驚いて帰って来ました。

ただ、以前と比べて日本人観光客の少なさに戸惑いを感じたところです。

今回の訪中を機会に会員一同の気持ちを結集し、交流発展に尽くしていく所存であります。

高 槻 市 目 中

## 交流の継続を要望

## 常州市を2理事が訪問



会談に臨んだ面々 2015.10.27 常州市運河沿にて

9月26日(土)、「第17回日中友好ビアパーティー」を高槻現代劇場内・レストラン錦松鶴で開催。当日は、来賓に府日中から日根野文三理事長と高槻市都市交流協会・山川明専務理事のほか、役員、会員ら29人が出席した。

今回は、出席者こそ低調だったが、単にビールを飲み干すだけでなく、歌あり踊りあり、恒例の福引

抽選会に、最後は山本理事の指導と先導で「河内音頭」を全員で会場を周回するなど、かつてない賑にぎしいパーティーとなった。

10月／その1：「高槻日中だより」第4号を発行し、役員、会員、中国語教室受講生、それに府下日中協会に送付した。今回は、実施事業等が多かったこともあり、A4判で4頁に収録できず6頁に増やした。

その2：昨年、大阪で開かれた「日中友好交流会議」に常州市から出席した陶欣氏の誘いを受けた中居・山本両理事は、26日から29日まで常州市を訪れ同市要人と会談した。

27日（火）午後3時から、国際交流センター内の会議室に、中国側から陶欣（常州市人民対外友好協会秘書長）氏、陳影（総経理）氏に潘曙偉氏が、日本側からは中居・山本両理事に、(株)ナルックス・常州工場の井田毅氏、同小谷洋子氏、同李麗氏、同吳莉娜氏が同席。席上両理事から「今後とも良き交流を続けていきたい」と持ち掛けたのに対し、中国側も「これからも、交流を促進したい」と応じ、前進させることを確認した。だが、具体的な取り組みまでは言及せず今後に委ねることになった。

会談後1時間余の宴会では、常州市から温かい接待を受けた。途中、山本理事が和服姿でお茶をもてなしたほか、全員で日本の“今日の日はさようなら”を中国語で合唱するなど、終始和やかに過ごした。なお、今回の訪中に当たりナルックスの井田様には、アクセスの手配や会談の設定に随分お世話になった。

その3：29日（木）、「高碕達之助生家再築推進委員会」のメンバーである角理事（委員長）、吉田顧問、小野・笹井両理事が、阪急・花屋敷雲雀ヶ丘駅近くの高台に建つ旧高碕宅で、今は記念館として公開されている同館を見学した。木造2階建て館内の元書齋には、ゆかりの資料や写真などが多数展示されていた。また、駅を挟んで南側の高碕氏が創設した東洋食品工業短大校内の高碕達之助図書館にも、氏と関わりのある資料等が整然と陳列されていた。

11月15日（日）は、毎回好評の「第5回中国料理教

室」をクロスバル高槻・食の工房で実施した。今年は29人（日本人16人、中国人13人）の参加者が劉金忠（青年部副部長）講師の下で、水餃子、麻婆豆腐とコーンスープの作り方の指導を受けた。

終わって、グループ毎の出来栄を食べ比べして楽しんだ。（理事・笹井 宏）

岸和田市  
留

## 2015年度後半の活動



みかん狩りと芋ほり体験

2015年度の活動目標の一つである近隣の留学生との交流ではいくつかの事業が展開できました。

9月 岸和田だんじり祭りでの外国人のためのインフォメーションセンターに2日間で7名の留学生の参加をいただいたが、学生はこのような形でのボランティア活動は初めてとのことで、最初は少し戸惑いもあったようですがそこは若さゆえ順応が早かったと感じました。

10月 陶芸体験、陶房焔（会長宅）での作品作りに参加、2時間奮闘、陶芸は初めてとのことでしたが二つ目の作品からはとてもスムーズに作れるようになり、一か月後の作品引渡しではとても喜ばれ、機会があればまた挑戦したいとのことでした。

11月 みかん狩りと芋ほり体験、ミカンの木を初めて見る学生もおられ良い天候と相まって楽しいひと時を過ごし、また芋ほりでは1株に2～3本の芋が連なっており、掘りかたがわからない学生は手こずりながらの作業となっていました。掘れた時の

歓声は若さを感じさせられました。

これからも交流を続けて学生さんにはいろんな機会を通して視野を広げ、地域の現況を知っていただきなじんしてほしいと思っています。

近隣の地区協会とは一年を通して交流の機会を持つことでお互いを知り、また当協会の発展につながればと活動を続けてまいりました。阪南日中さんとは春節祭、秋の中秋節お月見の会に参加させていただき、岸和田の行事には春節の集い、陶芸体験、ミカン狩り、中国音楽の集いと多く参加して頂き交流を深める多くの機会を得ることができました。熊取日中さんにも泉州地区協会の交流親睦会、創立20周年記念行事に参加させていただきました。

地域市民へのアピールと交流事業では、5月に市民フェスティバルでのポップコーンの販売で参加し子供を中心に交流、11月は中国音楽の集いを開催し、音楽を通して多くの市民方々と交流をさせていただきました。  
(会長・武井俊成)

河内長野市日中

## 中、台、馬來、日 総がかりの水餃子販売



手作り水餃子に会員総掛かりで挑む

昨年10月25日の地元の一大イベントである高野街道祭りに新生河内長野市日中友好協会として模擬店を出しました。

一昨年まで当協会は豚まんの販売で実績を積んできましたが、昨年事務局を宅配弁当加工場から如来

会館（アジア文化芸術連盟）に移設したため、蒸し器の使用が叶わず、急遽手作り水餃子で勝負することになりました。

しかしながら、例年3万人以上押しかけるイベントゆえ、午前中だけで最低500食は用意する必要があり、会員総出で対応することになりました。

まずは、模擬訓練を兼ねて9月27日の中秋節に地元長野町の住民20名を如来会館に招き、手作り水餃子大会を催しました。中国朋友の作る手つきを見様見真似で何とか餃子の形にし茹で上げました。ところが、実際の本番となると仕入れから大変です。キャベツ20個、豚ミンチ3kg、メリケン粉、仕込みをする量だけでも素人では手に負えません。

結局、協会会員の中国朋友3名以外に台湾朋友2名、マレーシア友人親子そして協会理事の王宏さんの同郷の友人夫婦を新潟県柏崎市から呼び寄せるなどして、会員総がかりですべて手作りの水餃子1821個を売上げました。

当日は8時から店裏で餃子の皮作りと包み込み作業が休憩なしで続き、その甲斐あってか、昼過ぎには予定の500食を超え、607食を完売出来ました。写真は完売直後の皆のやり切った笑顔です！

(会長・大原一郎)

### 2016年度中国長期留学生（公費） 募集のご案内

- 出願期間：2016年1月4日  
～ 2016年2月5日
- 留学期間：2016年9月～ 2017年7月
- 留学区分
  - A 普通進修生 (A) 中国語を専門に学ぶ
  - B 普通進修生 (B) 日本の大学で専攻した学科を中国の大学で学ぶ
  - C 高級進修生 中国の担当教官のもとでテーマを決めて学ぶ

上募集要項などの詳細は全国本部のH/Pをご覧ください

<http://www.j-cfa.com/abroad/index.html>

公益社団法人日本中国友好協会 留学センター  
担当：宮嶋

TEL：03-3291-4231 E-mail：ryugaku@j-cfa.com



阪南市日中

## 呉中区からの交流団を 迎えました

### 会員増強活動で8名の新会員



福山市長、周副区長らと阪南市役所で

「スーパームーン」が輝く9月27日夜、恒例の中秋節お月見会をサラダホール和室で開催。岸和田市日中武井会長、熊取町日中樫井理事長、和歌山外国語学校の広中先生と留学生2名、大阪観光大学の百武先生と留学生3名、それに新入会員4名を含めて総勢37名の和やかな集いになりました。

今回の「目玉」は、坪内稔典門下の俳人でもある樫井さん指導による「俳句入門」。即席で、あるいは用意してきた句を全員が提出、これを白板に書き出して一句ずつ講師と参加者で評可していくもの。講師のリードよろしきを得て笑いの絶えない賑やかな句会になりました。

10月23日には93年以来交流を続け、4月には20名で訪問した蘇州市呉中区から周曉敏副区長を団長とする6名の交流団が来訪しました。市役所に福山敏博市長を表敬、懇談、施設見学。このあと和食の店で当協会主催の歓迎昼食会。会員12名が参加しました。午後は桃の木台小学校を訪問。2年生のダンス、3年生のリレー落語、4年生の百人一首大会などユニークな視察プログラムで迎えていただきました。なお一行の来訪に当っては、市長名での招請状、教育委員会による学校視察のアレンジなど、行政からの多大のご協力をいただきました。

また、岸和田市日中のみかん狩り、同じく中国音楽会、京都伏見のお寺の住職でもある熊取町日中の

林会長にコースを組んでいただいた伏見ハイキング、スカウト会館での関西日中平和友好会の勉強会にそれぞれ数名の会員が参加するなど他の地区協会、団体との交流の多い秋でもありました。

特筆すべきは、会員増強活動を進めて8名もの新会員を迎えることができたことです。会員の皆さんの熱心な勧誘活動の成果と感謝しております。また中国語通訳ボランティアの組織化も着々と進めているところです。  
(会長・中務武志)

熊取町日中

## 大阪観光大学にて 初の交流茶話会



テーブルごとに和気藹々と交流

本会会員でもある大阪観光大学の講師百武(モモタケ)仁志氏の専門は経営戦略論。日本企業のアジア戦略についての研究のため、日本企業の進出人気が高い中国にはよく調査にいらっしゃる。「海外に行って接する人が良い人であれば、その国のイメージも良いものになる。」この考え方に基づいて、「大阪観光大学133名の中国人留学生が日本で良いイメージを持てるよう、草の根交流活動を頑張っていきたい。」との熱い思いを抱き、既に岸和田日中さんにご協力いただいて活動している百武氏。

そして11月14日(土)、大阪観光大学の中国人留学生との交流茶話会が、本協会行事として初めて具体化しました。

当日は、府日中より戸毛敏美副会長にもお越しいただき、百武氏のゼミの大半を占める中国留学生の中から8名と、留学生から中国語を習い始めた数少ない日本人女子学生1名、会員11名が参加。テーブ

ルごとに自己紹介や留学動機、卒業後の希望などを、日本語と中国語を交え活発に出し合いました。

学生さんにテーブルを移動してもらって全員との交流をしました。帰国して起業したい人、地元で働きたい人、日本語教師になりたい人、語る夢は様々でしたが、女子の多くは日本で働きたいとの希望を話されていました。日本語学習指導のご希望もあるのですが、スタッフ不足の本会、ご期待に添えていないのは心苦しい所です。

他に、9月12日(土)には、20周年記念行事の反省と次の10年への抱負や希望を出し合いました。10月3、4日(土、日)には、10年前を懐かしみ、丹波篠山の「モンゴルの里」を7名で再訪。温泉に入り、馬頭琴を聴き、モンゴル料理やお酒に舌鼓、絶好の日和に恵まれた二日間、星空の美しさも堪能、パオでの貴重な宿泊体験と丹波路の秋をゆっくり楽しみました。

(事務局長 有岡トシエ)

## 救方市目申

### 努力の積み重ねが次の ステップへ

—今年度前半の活動を振り返って

日本人家庭訪問プロジェクト



昨年の大きいニュースは、なんとといっても沢山の中国人観光客の来日と「爆買い」という言葉であろうか。政治レベルでギクシャクしていると言われながらも、溢れるような荷物を抱えて飛行機に乗る様子は、如何に中国の人たちが日本人の物作りの技術や製品を信頼しているかという表れであり、我々日本人が誇るべき資産であろう。お互いに優れた点を認め合い尊敬の念を持ち続けることが、取りも直さず、友好の基礎になることを実感する毎日である。

さて6月25日、7月5日の両日、日中相互理解のための活動の一つとして関西外国語大学孔子学院と共同で「日本人家庭訪問プロジェクト」を始めた。せっかく日本に来ていながら、一般家庭に一度も行くことなく帰国する留学生が多いということを知り、是非日本人家庭を見学、体験して頂くことにした。まずは初めての事であるので、山中会長、奥野理事長、森田の三軒で実施した。数人の留学生と孔子学院ボランティア教員が一組となり訪問。日本食を食べたり、庭の散策をしたり茶道のお点前を体験したりと、各家でそれぞれに工夫を凝らしたもてなしをし、大変喜んで頂くとともに充実した時間を過ごすことができた。今後も機会あるごとにこの活動を継続していきたいと考えている。



第4回中秋節月見交流会

9月26日関西外国語大学学研都市キャンパスに於いて、当協会と孔子学院の共催である「第4回中秋節月見交流会」を開催した。竹内脩・前枚方市長ご夫妻、谷井昭雄・大阪府日中会長が来賓として参加下さった。玄関入り口で日本のススキの生け花や、月見団子と、中国の豪華な月餅や茶杯が展示され、両国の月見の伝統や由来を参加者に説明した。当協会役員・会員やその家族、中国・欧米からの留学生、孔子学院市民講座の受講者、近隣の皆様など、総勢200人余りの参加者が、第一部の文化体験ブースで中国の切り紙、中国組みひも、将棋、日本の茶道や中国の茶芸などを楽しんでいた。

中国の漢服や日本の浴衣はとても好評で、お互いに写真を撮ったり、そのままそのあたりを散歩したりと最後まで賑わっていた。

第二部は関西外国語大学谷本榮子理事長のご挨拶で始まり、来賓の皆様や当協会山中会長から、日中友好の活動に対する熱意のこもったご挨拶があった。

その後山中勝子会員らの日本舞踊「北国の春」と「花笠音頭」、中国の民族舞踊「荷塘月色」、留学生の歌で盛り上がり、熱々の水餃子や巻きずし、月餅などを食べながら中国語日本語英語が飛び交う国際色豊かなひと時を過ごした。

10月3日、枚方市岡東公園で開催された「第16回ひらかた多文化フェスティバル」に今年も参加した。今年のテーマは『世界平和』。穏やかな晴天に恵まれたこの日、テントの中では、中国国家茶芸師の資格を持つ当協会会員の前田久美子さんがチャイナドレスに身を包み、鮮やかな手つきで中国茶の妙技を披露し、参加した人々に薫り高いお茶を振る舞った。芝生広場ではフリーマーケット、舞台では、孔子学院のボランティア教員の方と留学生に中国舞踊と太極拳を披露して頂き、市民の皆さんに中国文化をご紹介するとともに、我々日中友好協会の活動を広く知って頂く良い機会になったと思う。今後これらの活動を継続し、質を高めていきたいと考えている。

(担当理事・森田洋子)

豊中市日中

紹興市での

「西村真琴と魯迅展」

実現をめざします



紹興魯迅紀念館にて豊中中日訪中団記念撮影

大阪府と上海対外友好協会主催による大阪・上海友好提携35周年記念事業の中国訪問に同行させて頂きました。小生中国は初めての訪問であり、正直期待と不安の連続でありました。自らの信条としている『異文化との交流と理解、その実践』の失敗の連続記録です。

時は2015年11月1日から5日の短期間の訪問でした。特に紹興市の対外人民友好協会の訪問と友好交流、紹興『魯迅記念館』の視察と交流、並びに大阪府日中の行事「大阪一上海友好提携35周年記念行事」への合流参加と上海魯迅記念館の視察と交流、更には大阪府日中の元理事長雨宮礼三氏の『生誕100周年記念式典』と同氏の「上海宋慶齡陵園」でのお墓参りに参加する機会を頂き、大変感慨の深い素晴らしい日本中国の友好の緒となりました。

豊中市日中は、2014年に創立15周年を迎え、記念事業が実施されました。中でも『西村真琴と魯迅展』が豊中中央公民館『コラボ』で開催されました。同時に豊中市日中友好だより特別記念誌（協会創立15周年誌）が発行されました。豊中市日中としては、西村真琴展を紹興市の魯迅生誕地で開催致したく、紹興市人民対外友好協会と関係者の方々に、その呼び掛けと実現を目指して交流する事も今回の中国訪問の目的でもあります。

今回の訪問でその全貌がまだ未明ではありますが、交流の会を重ねる事で一歩も二歩も前進したことを確認致しました。紹興市との交流も人民対外友好協会を通じて十分重ねられたと確信致します。更には上海魯迅記念館で図らずも魯迅先生のお孫さんとも面談することが実現し、一人一人にお土産まで頂戴し、記念写真に収まる事が出来ました。また、雨宮先生の『生誕100周年記念式典とお墓参り』にも参加の機会に恵まれ、先輩達から耳学で承知していた事柄が、目の当たりに再現されその記憶を脳裏におさめる事が出来ました。今回の企画・ご案内を頂きました諸先輩に感謝申し上げます。

最後に、今回の訪問に関して訪問先に訪問団の『集中と結束』『感動と感激』を正しく伝達出来なかったように反省致しております。大阪府・各地区日中の横断的な繋がり、共有と共鳴の不足を今後の課題として、中国訪問が緒についた事を報告致します。

感謝

(副会長・小山 登)

## 臆せず、向前進！



11月の留学生研修会、とかしき副大臣を囲んで

去年は暦の未年。当てられた動物は羊で、未は方角では南から西に30度、時刻は午後1時から3時とされる。今年の申は西から南に30度の真逆、時刻は3時から5時で、一年違いの隣り合わせなのにまるで反対向き。時刻は未の昼寝時、申は1日の仕事の仕舞い時となる。そして羊は8千年も前から家畜として飼育され、毛織物、皮革製品、食料として人の役に立ってくれてきた。性格は臆病で常時群棲習性があるので、人間にとって便利この上ない存在だったのである。それに引き換えサルは家畜ではなく、しかも「去る者は追わず、去る者日々に疎し」と薄情を表し、しまいには西洋禪、猿股、パンツと品下がってしまう。申年の善男善女諸氏には、稚拙な比喩と笑って、看過いただき、お許しを願います。

去年は、暦で臆病、従順と規定され前向きでないといわれる羊年でしたが、私の周辺においてはこの概念を転換させてしまう未年の昨年であったのです。もちろん日中友好活動を中心としたことですが、年初より多忙なことが続きました。

年初の春節は北京にいて、東に行くこと150キロの唐山市を訪れました。1976年、20数秒間で24万人の命を奪った大地震の地であります。そのとき炭鉱の地底から助かった友人の父は、地獄を見たと言語りました。壊滅した都市は別の地で復興を遂げ、新都市として活動していました。



留学生の廖天培さんによる二胡の演奏もあり、楽しく華やかだった忘年会



2月の理事会では、9月15日出発の麗江古城訪問が決まり、3月は中国総領事館教育室で第9回の留学生を囲む恒例火鍋大会、4月は府下15番目に誕生した守口門真日中友好協会設立式典に参加して、原会長の力強い友好交流方針に魅了されました。さらに関西大学新入中国人留学生歓迎会に立会い、若い「気」をもらいました。

5月には、初めて訪れた南京市で、訪れたことのない外国の、人や文化に関して喧伝されたマイナスイメージは信用に値しないということを知り、「百聞は一見に如かず」を実感しました。そして一ヶ月も経たず再訪しました。10月の府日中訪中行事を含めて三度も南京市を訪ねたことになり、古都の良さを体感しました。9月の麗江古城訪問では、友好提携都市関係にある飛驒高山市にお世話になりました。今年はそのお礼として高山市表敬訪問を決めています。

8月に吹田市に来てくれた重慶市小中学生サッカーチームも、1月下旬に2チームで再訪してくれます。11月には当協会最大のイベントである100人の留学生招待一泊研修会を無事行い、年末12月8日は忘年会。領事館、留学生、他の地区協会の方が65名の参加をいただき年忘れのひとつきを過ごしました。今回のテーマを「楽しく華やかに」とし、女子留学生の旗袍、会員の和服、中山服、日本酒と白酒と、衣食日中友好交流を併せて行い、大盛況で幕としました。

臆病な年などといわれる未年であっても、元気に

行動すれば好転できると実証した一年だったと総括できます。

臆せず、向前進！ 今年も続けます。

(副会長・和田 融)

松原市日中

## 協会活動報告のご案内



8月の松原市民祭りのブースにて

皆様、明けましておめでとうございます。

当協会は8月1～2日に第41回松原市民祭りに地域の市民活動団体と共にブースを設けて参加、中国総領事館から提供いただいた資料を配布するなど広報活動や交流活動を、真夏の中で行いました。

なお、開催日が原稿締め切りを過ぎていたので、詳細は次号で紹介しますが、昨年12月27日に設立20周年記念式典を開きました。ご出席の皆様には厚くお礼申し上げます。

これからの活動予定は、春節祭に合わせて新春から手料理による料理懇親会の開催、夏の松原市民祭りへの参加、秋の映画鑑賞会などの諸活動を行います。

その間に、府日中や地域の市民活動団体との交流活動事業に参加を含めた活動をして参りたいと思います。

昨年同様に松原市日中友好協会では、今年も地域の各市民活動団体と民間レベルで地域活性の協働体制を共有しながら協働事業活動を目指し、協会活動を地域の人達にご紹介と広報活動を広く実践して参ります。

今後ともご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

(会長・牛浜 龍男)

藤井寺市日中

## 市民祭りなどを通じて 交流を深めます

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も何卒、よろしく願いたします。

さて、藤井寺市日中友好協会では、毎年恒例となりました市民祭りでの『太極拳』の演舞を多数の方々にご覧いただきました。流れるように演舞用の刀を振るう姿は、勇ましくも優雅で、演舞は盛況のうちに終了しました。

また、8月末日に日中友好協会総会を開催しました。総会の後、藤井寺市内の中華料理屋にて懇親会を実施。親睦を深め、さらなる日中交流活動について話し合い、非常に有意義な時間となりました。

日本と中国両国間では安全保障上の課題が両国を緊張状態にしています。ですが、市民祭りをはじめとするイベントを継続し、交流を深めていくことで、日中の友好は良い方向へ進展していくと思っております。

(藤井寺市日中・事務局)

### 地区協会の新年会・春節の集いの予定

|       | 日時              | 場所        |
|-------|-----------------|-----------|
| 枚方市日中 | 1月18日(月) 18:00～ | 天安門       |
| 豊中市日中 | 1月23日(土) 18:00～ | ホテルアイボリー  |
| 八尾市日中 | 1月27日(水) 18:00～ | 山徳        |
| 高槻市日中 | 1月30日(土) 18:00～ | 桃莉        |
| 阪南市日中 | 2月7日(日) 11:00～  | 池田泉州銀行淡輪寮 |
| 堺日中   | 2月9日(火) 18:30～  | 楓林閣堺店     |

(ご連絡のあった地区協会のみ掲載しています)



## 今年も盛り上がりました！ 2015日中友好青少年絵画展

摂津市コミュニティプラザで開催



青少年書画展で受賞の子供達と記念撮影

大阪三島日中友好協会・大阪府日中友好協会共催で、2015年11月28日(土)～11月29日(日)の2日間、日中友好青少年書画展を開催しました。江蘇省人民対外友好協会の協力により、本年は南京市蓮花実験学校の小学生21点の書画作品が展覧されました。

摂津市と近隣の小・中学校などの児童生徒から、絵画83点、書道80点、一般作品5点の合計1892点が展示されました。後援を摂津市、摂津市教育委員会、在大阪中国総領事館、摂津市国際交流協会、日中産業交流協会から戴き、2日間で延べ500人を超える市民、受賞者などが熱心に作品を見つめ大盛況でした。

11月29日日曜日午前11時から表彰式があり、受賞の子供達やそのご家族200名近い参加者でロビーは一杯。

主催者を代表して小林貞夫摂津代表の挨拶と、来賓の森山一正摂津市長、南野直司摂津市議会議長、大矢優子摂津市教育委員長、馮帆在大阪中国総領事館副領事、長尾千里摂津市国際交流協会理事、上西小百合代議士、山本大府議からの挨拶がありました。

また、渡嘉敷代議士秘書や多くの摂津市議会議員も参加され会場は大いに盛り上がりました。

受賞者へ摂津市長賞等各賞が手交されましたが、特に、馮帆副領事から真紅の賞状入れで賞状を手渡された受賞者からは、満面の笑みがこぼれ、会場から一段と大きな拍手を受けていました。

文化は、風に乗れ、海を渡って届きます。第3回目の書画展は関係者みなさまの応援のもとに盛大に終わりました。摂津では「一衣帯水」の言葉をよく耳にします。これは摂津市が永年にわたり、隣国中国との密接な関係をもって生まれた言葉だと思っています。

将来を担う青少年の書画をもって、ますますの交流を深め「一衣帯水」互いを信じあえる懸け橋になれることを信じて開催を続けています。

受賞作品は、12月14日～20日摂津市内で特別展示がされました。(文化担当理事・長尾千里)

**楓林閣**  
45周年

中華料理

ふ りん か く

**阿倍野店：06-6649-1055**  
天王寺駅すぐ・アポロビル9F

**堺店：072-238-1605**  
南海高野線堺東駅前・みずほ銀行ビル8F

お一人様のお食事より、400名様の大宴会まで。  
大小洋室(15室)完備

「大阪と中国」ご持参でご宴会の方全員に、記念品プレゼント!!

### 日根野公認会計士事務所

公認会計士 日根野 文三  
税理士

大阪市中央区南新町2-3-7  
塚本ビル7階  
TEL (06) 6942-1888  
FAX (06) 6942-3177  
http://www.hineno-ao.com

### Culture & Communication

株式会社  
国際印刷出版研究所

〒551-0002  
大阪府大正区三軒家東  
三丁目十一番三四号  
TEL 〇六(六五五二)〇二八四  
FAX 〇六(六五五二)〇二八四

会 員 消 息

関西ブロック女性交流会に  
参加して

寺本 久子

10月22日(木)、滋賀県守山市で関西ブロック女性会議が開催され、6地域の代表が活動の成果や課題を話し合いました。大阪府日中からは5名が参加。

私自身には、私たちが5月に南京を訪問し、夏淑琴さんの話を聞き書きしたことや、江蘇省の婦女連と「女性が働く上での課題をどう乗り越えるか」を討論したこと、幼稚園を視察して幼児教育環境が整っていることを肌で感じたこと、幼児教育の日本と中国の共通点と相違点などをお話したいとの思い入れがありました。

辻元清美さんからの、女性たちへの期待と激励の祝電が披露され、参加者全員が自己紹介を交えてそれぞれの思いを話しました。

大阪の戸毛先生からはご自身の経験談や南京訪問の報告、川上和さんからも南京訪問の詳しいお話があり、各協会の方がたからは印象に残るお話を聞くこと

ができました。

ある方のお話です。「実は私、引揚者なんです。今まで子どもたちにも話さなかったんですが。小学1年生で終戦、日本に帰ったときは3年生になっていました。転々としている間に母が亡くなり、兄も亡くなりました。父が学校の先生だったので、そんなに困ることはなかったと思うのですが、つらい経験を話したい気持ちと、話したくない気持ちが半々で」

これを聞いたとき、「戸毛先生のお話がこの方のお話を引き出したんだわ」と、胸がいっぱいになりました。その方が庭菜園で栽培したプチトマトをいただきながら、その甘さとともに今日話されたことを忘れてはいけなと思いました。

どの協会も高齢化と財政難、会員減などの課題を抱えていても、女性たちの気持ちはひとつになれると確信しました。もうちょっと頑張らにやいかんかな、と。次年度の当番である奈良での集まりに期待し、大阪日中は15の各地区協会に女性の参加を促すことを約束して、会場を後にしました。女性会員の皆さんのご参加よろしくお願いたします。

2月『文化茶話会』のご案内

日時：2月20日(土) 14:00~16:00

場所：大阪スカウト会館3階

講師：(予定) 方 愛郷氏

東北财经大学国際漢語文化学院院長、中華日本学界理事、大連市中日友好学友会副会長

演題：(未定)

\*最終決定後に、H/P、メールでご案内します。

編集後記

\*久しぶりの大型訪中団は各地で大歓迎を受け、大きな成果を挙げました。積極的な働きかけが何より大事だと痛感した秋でした。

\*各地区協会から活発な活動報告がつぎつぎに。いま地区協会が元気です。この勢いを今年も。

\*大阪の街にあふれる中国人観光客。

「出会ったらニイハオのひと声を掛けましょう。われわれも外国でコンニチハの声を聞くと嬉しいものですから」と、忘年会で日根野理事長。誰にでもすぐできる、日中友好活動の第一歩です。(志)

■新刊紹介

「日本と中国の絆」 胡 金定(著)

来日30年、甲南大学教授の著者にとって初めてのエッセイ風の論考集。日中関係の現在、人的つながり、日中友好に尽力した人びと、友情の歴史が未来につながる、日中文化の絆の5章からなる。大阪と縁の深い高碓達之助や西村真琴、また徐福、隠元、鄭成功など多くの先人について触れられている。



第三文明社 1500円(税別)

青年部メンバー募集!

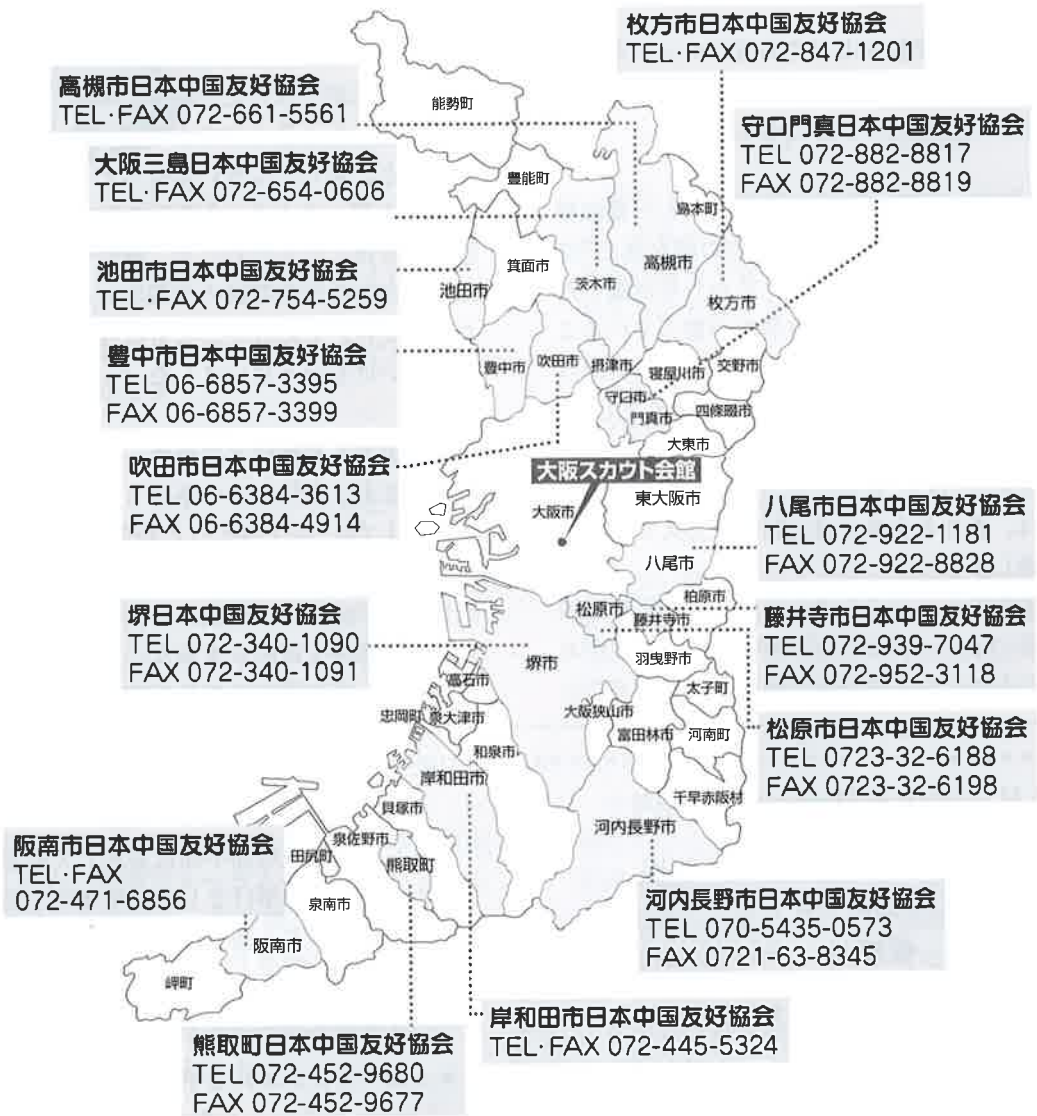
中国好きの方、中国語を学習している方、在日中国人・留学生との交流などに興味のある方、青年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人の方も大歓迎です! みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しましょう!!

●対象：若い方 ●会費：年間 3,000円  
(一般会員年間 12,000円のところ)

# 謹賀新年

今年も 大阪府各地で がんばります

## 各協会の地図



…お気軽にお越し下さい…

## NPO法人 大阪府日本中国友好協会

〒543-0052  
大阪市天王寺区大道5-4-6  
大阪スカウト会館2F  
TEL : 06-6770-0080  
FAX : 06-6770-0707  
Eメール : jcf@mail.infomart.or.jp  
http://www.kaigisho.com/jcf

※日・月・祝日休み  
土曜日は開いています。

